

# 幸せ顔の「ちょこっとテク」とは？



### プロフィール

- 医学博士
- NPO法人日本フェイシャルスタイリスト協会理事長
- プラスロン化粧品株式会社代表取締役
- 一児の母・萩本欽一さんの姪

日本フェイシャルスタイリスト協会理事長のプラスロン明世さんによる「スキンケア&メイク教室」がこのほど広島市西区の住宅展示場「エコス」でありました。子育て世代の女性が参加し、正しいスキンケアの方法やポイントメイクのコツを学びました。

教室のテーマは、「幸せを呼ぶ顔になろう」。明世さんはまず、「スキンケアやメイクの前には必ず笑顔を作ってください」と呼び掛けました。心の状態が顔の表情に表れるからです。参加者全員で「アハハハ」「イヒヒヒヒ」などと声を合わせて、口角を上げる運動をしました。タレントの萩本欽一さんの姪という明世さん。笑いと美容をミックスさせたトークに、緊張気味だった参加者の表情も和らぎます。



「こすらない、引っ張らない」という美容理論のもと、コートダジュールで学んだものを日本人に合うようにアレンジして、自らが考案した自宅でできる顔のつぼ押しリンパドレナーージュ「イキイキアップシング」を参加者とともに実践しました。その後、スキンケアの指導。コテニスボール2個分の泡を作って、その泡を顔と手の間で転がすように優しく洗顔。



「こすらないよう、汚れを毛穴に詰まらせないようにして、ゴシゴシ洗いは厳禁。」と説明し、参加者は熱心に耳を傾けていました。

メイク前の「準備体操」は整いました。いよいよ明世さんが参加者2人の顔半分にメイクをして、

ポイントを解説します。「顔は眉が命。近所に出掛ける際、口紅だけ塗るとよけいに老けて見えるので、眉と目元のくまに最も気をつけて」と、「ちょこっとテク」を披露。眉山を黒目の外側、眉尻は口角から目尻を通った直線上に合わせる美人眉の描き方をアドバイスしました。



さらに、リップブラシを使って、コンシーラーで丁寧にくまを隠して整えました。すると明世さんがメイクをした顔半分は、していない半分には比べて、引き締まった印象です。



メイクを体験した参加者は、「眉と目元だけでこんなに変わるなんてびっくり、これからメイクが楽しくなりそう」「自然に笑顔になる。早く家に帰って娘に見せたい」と大喜び。「今日から実践して、明日からますます幸せを呼ぶお顔で毎日を楽しみましょう」と明世さん。会場は幸せ顔で満開でした。



### 参加者コメント

「先生がずっと笑顔でお化粧されていたのが印象的で、笑顔の大切さを実感した。子育て中は眉間にしわを寄せることが多いけど、笑顔を中心掛けたい」

「自分のメイクに自信がないので、年相応のメイクが学びたくて参加した。しみやたるみのかバーの仕方とか、眉の描き方など参考になった。笑顔を作ったからのメイクは、すぐに実践したい」

